



市では、国土交通省東北地方整備局能代河川国道事務所と秋田県が公表した浸水想定区域図(堤防から水があふれたり決壊したりした想定で作成)を基に、洪水ハザードマップ(洪水避難地図)と避難所マップを作成しました。今回は、避難所マップを掲載しますので、いざという時に備え、この避難所マップをご確認のうえ、「早めの準備」と「早めの避難」を心掛けましょう。

なお、洪水ハザードマップは、市役所本庁舎(総務課) 比内・田代両総合支所(総務課)や各出張所で閲覧できます。また、市のホームページに掲載しています。

お問い合わせは、総務課防災対策室 ☎43-7100

洪水ハザードマップを作成

★日頃の心得

次ページからの避難所マップは、身近な場所に保管しましょう

避難所マップは、家族がいつでも見られるように、目に付く場所に保管しておきましょう。

避難所までの道順と連絡方法を確認しましょう

自宅から避難所までの道のりに危険な場所はないか、日頃から家族で避難所までの道順を確認し、連絡方法を決めておきましょう。

非常持ち出し袋を準備しましょう
避難時にすぐ持ち出せるように、非常持ち出し品を準備しておきましょう。

情報の把握に努めましょう
水害の多くは雨が原因です。大雨が予想されるときは、テレビやラジオ、インターネットなどで情報の把握に努めましょう。

★避難時の心得

広報車などの呼び掛けに注意してください
さい

災害の危険が迫ったときには、市が広報車などで準備や避難を呼び掛けます。危険度に応じて対応しましょう。

高齢者や体の不自由なかななどの避難にご協力ください

自力で避難することが困難な高齢者や体の不自由なかななどが、安全にかつ速やかに避難できるよう、家族や地域の皆さんと連絡を取り合いながら避難しましょう。

単独での避難は避けてください
できるだけ2人以上での避難を心掛けます。単独での行動は、途中で事故が発生した場合、救助が遅れます。また、浸水している所を通るときは、長い棒をつえ代わりに使い、足元の安全を確認しながら行動しましょう。

避難が遅れたら無理をしない
避難が遅れたり、浸水が一気に押し寄せたりしたときは、無理をせずに自宅の2階や近くの丈夫な建物へ一時的に緊急避難して、救助を待ちましょう。

地下施設は意外に危険です
地下室や地下施設にいと外の状況が確認できず、一気に水が流れ込んでくる場合があります。豪雨が予想されるときは地下に降りないようにしましょう。

車での避難は早めに決断し、走行は細心の注意をお願いします
車で避難するときは、早めの行動が大切です。災害発生後は道路が土砂で寸断したり冠水したりして、動けなくなりま

す。また、交通渋滞を招いて、緊急車両の通行の妨げにもなります。車で避難するときは、早めに出発しましょう。